

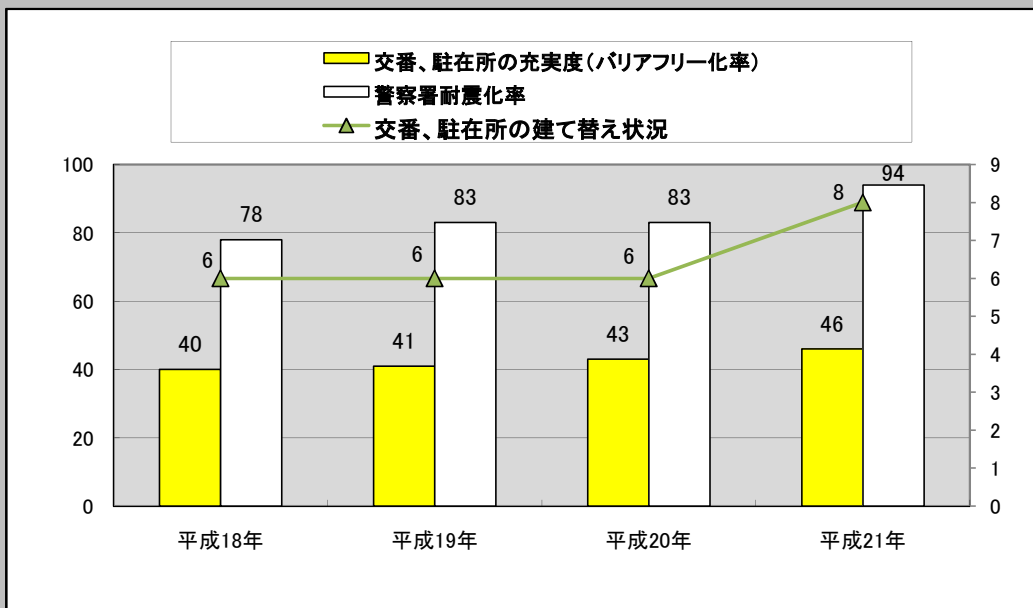
業務名

警察施設の整備

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
交番、駐在所の建て替え状況	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	単位
	6	6	6	8	戸
交番、駐在所の充実度（バリアフリー化率）	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	単位
	40	41	43	46	%
警察署耐震化率	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	単位
	78	83	83	94	%
	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	単位

※ 統計数値は、年度末の数値



○業務の主なコスト

No.	事 業 名	平成21年度事業費（千円）	平成22年度事業費（千円）
1	施設運営費	480,636	481,932
2	警察本部庁舎維持管理費	132,315	133,989
3	警察官駐在所等整備費	71,410	82,130
4	庁舎等施設整備費	329,355	31,479
5	警察署庁舎整備費	1,167,630	1,397,836
6	犯罪抑止の最前線拠点整備事業費	195,129	87,335
7	災害警備対策費	97,160	23,791
合 計		2,473,635	2,238,492

○平成21年の取組み

- 警察学校本館・道場棟の工事が完成し、供用を開始した。
- 松阪警察署の建替整備工事完成し、平成21年7月6日に供用を開始した。津南警察署の県久居庁舎を活用した改修工事が完成し、平成22年1月18日に供用を開始した。また、鳥羽警察署の建替整備工事は設計、造成工事が終了した。
- 伊勢警察署、桑名警察署、紀宝警察署の非常用発動発電機の改修工事を実施し、防災活動拠点としての機能の充実を図った。
- 交番・駐在所を地域の「生活安全センター」として十分に機能させ、県民の安全・安心のよりどころとなる施設とするため、バリアフリー化や相談室の設置に配慮しつつ、犯罪多発地区を重点に、3交番5駐在所の建て替え整備を行った。

○課題と平成22年の取組み

- 鳥羽警察署は、今年度建て替え整備工事を終了する。
- 大台警察署の非常用発動発電機の改修工事を実施し、防災活動拠点としての機能充実を図る。
- 交番・駐在所を地域の「生活安全センター」として十分に機能させ、県民の安全・安心のよりどころとなる施設とするため、バリアフリー化や相談室の設置に配慮しつつ、犯罪多発地区などを重点に、1交番4駐在所の建て替え整備を計画している。